

子育てをするなら
鹿児島市

子育て ガイド

内=内容 対=対象
期=日時・期間・期日 所=場所
定=定員・定数・人員 料=料金
申=申し込み 問=問い合わせ
FAX=FAX E=Eメール
共=共通事項

お知らせ・相談

市民福祉(遺児等修学)手当

対今年4月1日現在で引き続き1年以上本市に住んでいるひとり親家庭などで、義務教育中の児童を養育している人 ※児童が児童福祉施設などに入所中を除く ◇手当額…年額2万4000円(所得制限額以上のときは1万2000円) ◇必要なもの…申請者と児童の戸籍謄本、申請者名義の預金通帳、印鑑 **問**こども福祉課216-1260(FAX216-1284)、各支所の福祉課・保健福祉課

母子父子寡婦福祉資金の貸付相談

内来年4月進学時の貸付相談 ◇修学資金…高校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学での修学に必要な資金(他の奨学資金を受けているときを除く) ◇就学支度資金…入学金や制服などの購入資金 **対**市内に住むひとり親家庭の父母など(事前相談が必要) ※他の資金に関しては随時受け付け **問**こどもと女性の相談室216-1264(FAX216-1284)、各支所の福祉課・保健福祉課

新小学1年生の健康診断手続き

対来年度小学校に入学する平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの子ども ◇今月上旬

に送付する健康診断通知書を持って、指定の小中学校で説明を受けてください **問**保健体育課227-1951(FAX227-1923)

乳幼児健康診査を受けましょう

対3カ月・7カ月・1歳児 **所**赤ちゃんセットに記載している委託医療機関 ◇赤ちゃんセットと母子健康手帳が必要 **問**母子保健課216-1485(FAX216-1284)

こんにちは赤ちゃん事業

◇生後4カ月ごろ、訪問指導員が家庭を訪問し、子育て情報の案内や子育ての相談をお受けします ※新生児訪問を受けた家庭を除く **問**母子保健課216-1485(FAX216-1284)

育児支援家庭訪問事業

◇支援員が家庭訪問を行い、相談などに応じます ※支援を受けるためには申請が必要 **対**おおむね1歳未満の児童を養育中で、育児に不安を抱えている人 **問**こども福祉課216-1260(FAX216-1284)

親子ひだまり発達相談

内心理発達相談員や言語聴覚士、保健師などによる乳幼児期の子どもの発育・発達、ことばに関する相談(予約制) ◇相談時間…9時～12時、13時～16時 **申**電話で各保健センターへ

実施日	センター	電話番号
第2水曜日	東部保健センター	216-1310
第3水曜日	北部保健センター	244-5693
第4水曜日	西部保健センター	252-8522
第2金曜日	中央保健センター	258-2321
第3金曜日	南部保健センター	268-2315

子育て世代包括支援センターを設置しています

◇保健センターが子育て世代包括支援センターとして、妊娠・出産・子育て期までの切れ目ない支援を行います。お気軽にご相談ください ◇保健福祉課でも支援を行っています **問**母子保健課216-1485(FAX216-1284)、各保健センター、各支所の保健福祉課

認可外保育施設での保育料の一部補助

内認可外保育施設に入所してい

る児童の保育料の一部を補助 ※市民税額による制限あり **対**次の全ての要件を満たす人 ①市内に住所がある、②定員6人以上で基準を満たす認可外保育施設を月単位で契約している、③保護者が現に就労・就学・疾病などで家庭で保育ができない、④認可保育所の保育料、市税の滞納がない **問**保育課216-1258(FAX216-1284)

イベント・講座

漁船乗船体験参加者募集

内ブリなどの養殖いけすの見学やクルージング体験など **対**市内に住む小学生とその保護者 **期**10月24日(土)9時～11時30分(受け付けは8時30分～) **所**桜島港・桜島フェリーターミナル2階 **定**20人(超えたら抽選) **料**1人500円 **申**往復はがき(世帯ごと)に参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、10月15日(必着)までに〒892-8677山下町11-1生産流通課216-1341(FAX216-1336)へ

第8回親子バドミントン教室

内基本的な動作やルールの習得 ◇講師…市バドミントン協会会員 **対**全日程受講できる小・中学生とその保護者 **期**11月6日～27日の毎週火・金曜日19時～21時(全7回) **所**かごしま健康の森公園 **定**15組(超えたら抽選) **料**無料 **申**往復はがき(1家族1枚)に教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、10月24日(必着)までに〒891-1205犬迫町825かごしま健康の森公園管理事務所238-4650(FAX238-4548)へ

宮川の秋を楽しむ親子のつどい

内いも掘り、いもご飯作りなど **対**市内に住む小・中学生とその家族 **期**11月7日(土)9時30分～14時30分 **所**宮川野外活動センター **定**20組(超えたら抽選) **料**1人250円程度(保険料、食材費など) **申**往復はがきに郵便番号、住所、参加者全員の氏名、年齢、性別、子どもの学校名・学年、電話番号を書いて、10

月19日(必着)までに〒892-0816山下町6-1青少年課「宮川の秋を楽しむ親子のつどい」係227-1971(FAX227-1923)へ

第2回こころの健康づくり! マジック&紙芝居教室

◇講師…赤崎治夫氏(お笑いマジシャン紙芝居実演家) **対**小学1～4年生とその保護者 **期**11月7日(土)10時～11時30分 **所**かごしま健康の森公園 **定**15組(超えたら抽選) **料**無料 **申**往復はがき(1家族1枚)に教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、10月26日(必着)までに〒891-1205犬迫町825かごしま健康の森公園管理事務所238-4650(FAX238-4548)へ

中央保健センター育児教室

内子どもの病気や発育、しつけ、離乳食など **対**今年4月～7月に生まれた初めての子どもを持つ親とその家族 **期**11月10日～24日の毎週火曜日13時30分～15時30分(全3回) **定**40組(先着順) **料**無料 **申**電話で10月16日から中央保健センター258-2364(FAX258-2392)へ

ふれあい体験119参加者募集

対消防施設を巡るスタンプラリー **対**市内に住む小学生とその保護者 **期**11月15日(日)8時～12時 ◇消防局1階ロビー集合 **定**80人(先着順) **料**無料 **申**電話かファクスで10月20日から住所、参加者全員の氏名、年齢、性別、電話番号を中央消防署252-4119(FAX252-2119)へ



明るく楽しい学校づくり 市民大会

内学校づくり実践発表、「こころの言の葉」コンクール表彰式など **期**10月24日(土)9時10分～12時 **所**市民文化ホール **定**800人 **料**無料 **申**P T A会員と学校関係者は学校ごとに申し込み。一般の方は当日申し込み可 **問**青少年課227-1971(FAX227-1923)

子育て相談室

問すこやか子育て交流館(りぼんかん) 相談ダイヤル 812-7741

Q

子どもがもうすぐ1歳になるので、母親の私は職場に復帰します。子どもに授乳していますが保育園に入園予定なので、卒乳した方がよいですか。

A

保育園に入園するからといって、卒乳しないといけないということはありません。1歳を過ぎると、授乳は親子のスキンシップの意味合いが大きくなります。入園後も朝や夜に授乳してもよいです。職場での乳房の張りや、職場環境、自分の体調、子どもの様子などをみて、卒乳するか考えてみてください。卒乳する、しないに関わらず、親子ともスムーズな新生活を開始できるよう、栄養を3回の離乳食でしっかり取るようにし、日中の授乳回数を減らしていきましょう。早寝早起きなど生活リズムを整えると、お腹がすいて食事が進みやすくなります。親子のスキンシップも授乳のほか、膝に抱っこして絵本や歌を楽しんだりするなど、お子さんの興味や関心を広げていきましょう。

りぼんかんでは助産師による専門相談(マンマ相談)を行っていますので、心配なときはぜひご利用ください。